

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和3年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①工業に関する専門教科・科目を中心に、理数教育及び外国語教育の充実に注力した教育課程編成を行う。</p> <p>②グローバルコミュニケーション能力育成のための教育のさらなる検討を行う。</p> <p>③創造的な問題解決力を育成するために、生徒が主体となる双方向授業を展開する。</p> <p>④実践的・体験的学習を重視して、自ら課題を発見し解決するための力を育む授業改善を実施する。</p>	<p>①新教育課程編成表の2年目の導入を見据えて、各教科で使用する教材等の充実を図る。</p> <p>①新教育課程の科目における「単元の指導計画」を作成し、生徒の教育の充実を図る。</p> <p>②外部講師による英語講習に加えて、スタディサプリによる英語学習の充実化を図る。</p> <p>③④スタディサプリの導入にあたり教科・グループと連携したタブレットの活用も含め、校内全体での活用を検討する。</p> <p>③④新教育課程に対応した2年生課題研究の内容を検討する。</p>	<p>①生徒に身に付けさせたい資質・能力の育成に繋がる教科書・副教材を選定する。</p> <p>①新教育課程における令和4年度開講科目の「単元の指導計画」の作成を促し、授業が円滑に行えるように管理する。</p> <p>②スタディサプリの活用支援および外部講師による英語講習との住み分けを考える。</p> <p>③④スタディサプリア配信週間を実施すると共に各科目の年間指導計画にも組み込むことで活用の定着を図る。</p> <p>③④2学年課題研究に企業と連携した人材育成プログラムの導入する計画を立てる。</p>	<p>①適切な教科書・副教材を選定できたか。</p> <p>①新教育課程における開講科目の「単元の指導計画」の作成ができたか。</p> <p>②独自の実用英語技能検定試験への勉強マップを作成する。</p> <p>③④各教科の各学期においてスタディサプリの配信ができたか。また生徒全員がスタディサプリアを活用し学習することができたか。</p> <p>③④新カリキュラムに対応した内容で、企業と連携した計画を作成できたか。</p>					
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①多様性を理解し、来たる国際社会の一員として活躍できる人間性の育成を図る。</p> <p>②リーダーシップや協働意識を養い、生徒の人間性の育成を図る。</p>	<p>①計画的に講演会を配置し、自他の違いを理解して他人を尊重できる人格を育てる。</p> <p>②学習活動や様々な行事の中で、仲間を尊重し合い、誰もが安心安全な学校生活を保障できるよう、個に応じた支援体制を充実させる。</p>	<p>①3年間を見通した講演会の配置。</p> <p>②年間を通じた計画的な基本的な生活習慣指導の実践。</p> <p>②全職員による指導・支援体制の構築。</p> <p>②効果的な支援情報の共有体制。</p>	<p>①効果的に講演会を実施できたか。</p> <p>②生活習慣指導を計画的に実施できたか。</p> <p>②指導・支援体制の構築ができたか。</p> <p>②情報の共有が効果的にできたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和3年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒のキャリア発達を、正しい勤労観や職業観に基づく進学する意味や就職する意味について、十分に理解した段階まで引き上げる。	①生徒のキャリア発達の醸成を家庭からも促す体制を整えて、家庭と学校が連携して生徒のキャリア発達を支援していきえるようにする。	①保護者の進路に対する意識を醸成するために、PTAと連携して各学年保護者対象の進路指導説明会を実施する。	①各学年保護者対象の進路指導説明会を実施できたか。					
4	地域等との協働	①各種連携や地域との協働を通じた生徒の創造的な問題解決力を養う。 ②専門高校の教育内容や理工系進路における他学科に対する優位性を地域や中学生に理解してもらう。	①中学生のSNSの利用状況の調査し、その結果を反映した広報活動を企画・実践する。 ②本校 Web ページの進路に関する部分の充実を図る。	①1年生対象のアンケートにSNS利用の項目をあたりに追加し結果をまとめる。 ②工業系専門高校からの進学は他学科に対して優位であることを示すために進学に特化したページを作成する。	①アンケート結果から効果的かつ継続的に広報活動を行うことができたかを閲覧数やフォロワーの増加数で検証する。 ②進学に特化したページを作成できたかどうか。					
5	学校管理 学校運営	①創造的な問題発見・解決能力及び先端技術活用力を養う教育活動のための環境について、より一層充実させる。 ②生徒と向き合う時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①ICT 機器を活用した教育活動を実施できる環境整備を継続して行う。 ②校務の効率化を図るためオンライン会議等の活用を推進するが、職員間のコミュニケーション低下とならないよう改善を図る。	①新入生及び新着任者等、本校 ICT 環境に不慣れな者へのネットワーク接続、及び端末使用方法等のサポートを行う。 ②オンライン会議におけるコミュニケーションツールの積極活用を行う。	①タブレット端末の円滑なネットワーク接続、及び管理体制の構築。端末使用方法のマニュアルを作成し発信できたか。 ②コミュニケーションツールの使用方法等発信し、会議中に職員間で活発にそれを利用することができたか。					